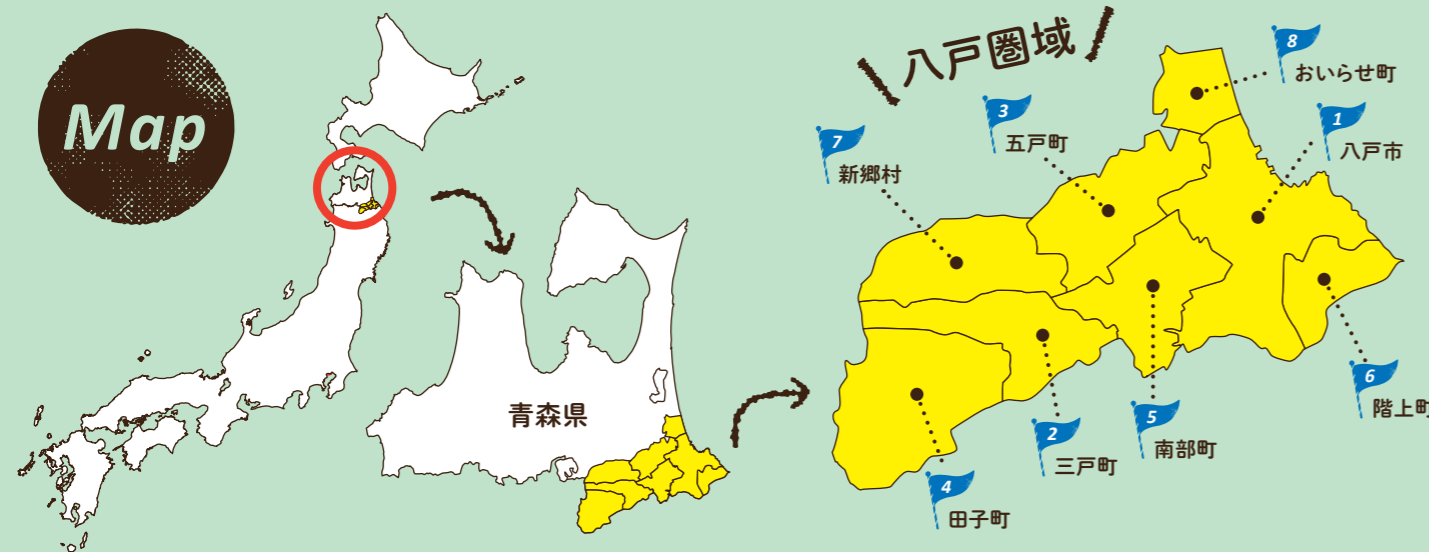


Map



八戸圏域 8市町村 のご紹介

「1丁から農業まで多様な産業が発達。仕事・子育て…目指すライフスタイルに合わせて住むエリアを選ぼう。」

古くから同じ南部領として共通の文化を持ち、ともに歩んできた八戸都市圏の8市町村。人口約23万人を抱える八戸市を中心に水産業・工業・商業から農林畜産業、近年では1丁関連まで、多様な産業が発達してきました。だから、幅広い業種の中から自分に合った仕事を探すことができます。

また婚活サポートや子どもの医療費助成など、ライフステージの変化に合わせたサポートも充実。気になる行政サービスを見つけたら、ぜひ移住相談窓口までお問い合わせください。

※各自治体ごとに問い合わせ先が異なります。

主な 移住・定住 支援制度

	おいらせ町	新郷村	階上町	南部町	田子町	五戸町	三戸町	八戸市	
仕事	就職支援	●	—	●	—	●	●	●	就職支援
	起業支援	—	—	—	●	●	●	●	起業支援
	独自の就農支援(農業支援)	—	—	—	●	●	—	—	独自の就農支援(農業支援)
	その他	—	—	—	—	◎定住移住促進通勤支援事業	◎ものづくり事業費補助金制度 ◎青年就農ステップアップ事業	◎お試しサテライトオフィス	◎交通費・引越し費用の助成
住宅	空き家バンク	●	—	●	●	●	●	●	空き家バンク
	お試し住宅	—	—	—	●	—	●	—	お試し住宅
	定住促進住宅	—	●	—	—	—	—	●	定住促進住宅
	住宅取得支援	●	—	●	●	●	●	●	住宅取得支援
	増改築支援	●	—	●	●	●	—	●	増改築支援
その他	—	—	◎耐震診断・改修支援 ◎駅前中央団地分譲	◎合併処理浄化槽設置事業 ◎宅地分譲(チェリータウン校場等)	◎若者定住移住促進住宅料助成金支援事業	◎子育てアパート等入居費助成事業	◎住宅及びブロック塀の耐震診断・改修支援 ◎民間賃貸住宅家賃助成事業 ◎合併処理浄化槽設置事業	◎耐震診断・改修支援 ◎合併処理浄化槽設置事業	その他
結婚	結婚祝い金	—	—	—	—	●	—	—	結婚祝い金
	婚活支援	◎婚活イベント実行委員会による婚活イベント	◎婚活イベント	—	—	◎同窓会等支援事業	◎縁結びサポート事業	◎はちのへ縁結びプロジェクト	婚活支援
	その他	—	—	—	—	◎縁結びプランナー登録 ◎縁結び報奨金	—	◎縁結び志隊	その他
子育て	出産祝い金	—	●	—	—	●	●	—	出産祝い金
	医療費助成	●	●	●	●	●	●	●	医療費助成
	保育料減免	●	●	●	●	●	●	●	保育料減免
	支援・相談	◎子ども健康相談・母乳相談・栄養相談 ◎地域子育て支援センター ◎奨学資金貸与 ◎医師就学資金貸与	◎地域子育て支援センター ◎乳幼児健康相談	◎地域子育て支援センター ◎奨学資金貸与制度 ◎奨学生ふるさと定住促進補助金	◎地域子育て支援センター ◎奨学資金貸与制度	◎奨学資金貸与 ◎就学援助(小・中学生) ◎入学祝い金(小・中学生・高校生) ◎中・高一貫教育推進 ◎地域包括支援センター ◎子育て定住移住支援室 ◎語学検定料支援事業	◎地域子育て支援センター ◎奨学資金貸与 ◎医師修学資金 ◎薬剤師修学資金	◎のぼたん広場(子育て支援ネットゆりかご) ◎子育てサポート祝金 ◎奨学資金貸与 ◎資格取得支援(三戸高等学校)	◎地域子育て支援センター ◎ファミリーサポートセンター ◎奨学資金貸与・給付
交流・施設	◎放課後子ども教室(無料)	◎出張子育て相談(毎月1回)	◎放課後子ども教室	—	◎子育てサロン	—	◎のぼたん広場 ◎さんのへ農業小学校 ◎放課後子ども教室	◎子育てサロン ◎こどもはっち(つどいの広場)	交流・施設
その他	◎小・中学校給食費無償化事業 ◎病後児保育 ◎放課後児童クラブ(無料) ◎ブックスタート ◎絵本の読み聞かせ	◎子ども商品券の給付 ◎小・中学校給食費無償化事業 ◎乳幼児の主食費(米代)助成 ◎絵本プレゼント ◎村営学習塾	◎ブックスタート ◎放課後児童クラブ ◎自分チャレンジ促進事業	◎小・中学校給食費無償化事業 ◎中学生海外派遣事業 ◎放課後児童クラブ ◎小学生国内交流事業 ◎子育て用品給付事業(南部町びよすくーぼん)	◎ブックスタート・セカンドブック ◎中学生海外派遣事業 ◎延長保育無料 ◎英語塾実施事業 ◎保育園給食費軽減 ◎すくすく館(放課後児童クラブ)	◎多子世帯支援商品券発行事業 ◎中学生海外派遣 ◎海外研修支援事業 ◎放課後児童クラブ	◎絵本プレゼント ◎絵本の読み聞かせ ◎放課後児童クラブ ◎延長保育無料 ◎中学生海外派遣事業 ◎保育所等の子どもの副食費助成	◎病児・病後児保育 ◎八戸市ブックスタート事業 ◎マイブック推進事業 ◎放課後児童クラブ ◎青少年派遣交流事業	その他
その他	◎町民バス運行(未就学児無料) ◎インフルエンザ予防接種助成(18歳以下、妊産婦、65歳以上)	◎村内無料コミュニティバス運行	◎コミュニティバス運行(中学生以下無料) ◎インフルエンザ予防接種助成(中学生以下)	◎コミュニティバス運行(中学生以下無料) ◎インフルエンザ予防接種助成(1~18歳)	◎コミュニティバス運行(中学生以下無料) ◎インフルエンザ予防接種助成(町民全員)	◎コミュニティバス運行(中学生以下無料)	◎コミュニティバス運行(中学生以下無料) ◎インフルエンザ予防接種助成(1~18歳、65歳以上)	◎八戸ウェルカムチケット(施設無料利用券)	その他

くらしの情報

【人口】 226,477人
 【世帯数】 109,191世帯
 【面積】 305.56km²

【産業別就業人口割合】
 ●第1次産業 3.4%
 ●第2次産業 22.5%
 ●第3次産業 74.1%

【病院の数】
 ●病院 21
 ●診療所 171
 ●歯科医院 95

【子育て】
 ●保育所 18
 ●認定こども園 68
 ●幼稚園 13
 ●小学校 43
 ●中学校 26
 ●高等学校 13
 ●工業高等専門学校 1
 ●大学 3

【高齢者福祉施設】
 ●養護老人ホーム 1
 ●特別養護老人ホーム 12
 ●軽費老人ホーム(ケアハウス) 5
 ●介護支援センター 19
 ●生活支援ハウス(高齢者生活福祉センター) 2
 ●老人福祉センター 2
 ●老人いこいの家 5

【文化施設】
 ●図書館 3
 ●博物館・美術館(建設中) 3
 ●文化ホール 3
 ●公民館 24

【スポーツ施設】 33

【NPO法人】 60

【買い物】
 ●スーパー 多数
 ●コンビニ 多数
 ●ホームセンター 多数
 ●電器店 多数
 ●ドラッグストア・薬局 多数

【交通】
 ●路線バス 多数
 ●コミュニティバス あり
 ●デマンドタクシー あり

お問合せ先

八戸市 総合政策部
 広報統括課
 シティプロモーション推進室

青森県八戸市内丸一丁目1番1号
 TEL.0178-43-2319(直通)
 http://www.city.hachinohe.aomori.jp/

八戸駅から市庁までのアクセス

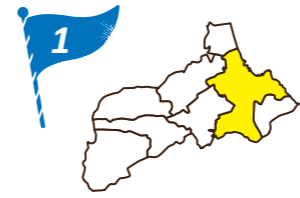
◎JR八戸駅より八戸線約10分、
 JR本八戸駅下車後、徒歩約9分



①ユネスコ無形文化遺産に登録された「八戸三社大祭」②青森県初のJリーグ参入を果たした「ヴァンラーレ八戸」
 ③全国的なジャズイベントとして成長した「南郷サマージャズフェスティバル」④約350店舗が並ぶ全国最大規模の「館鼻岸壁朝市」(3～12月)⑤B-1グランプリでゴールドグランプリを獲得し、話題となった「八戸せんべい汁」

いちおしポイント!!

- ① 変化に富んだ風光明媚な景観が広がる三陸復興国立公園の種差海岸は、多くの文芸家や芸術家を魅了し、その作品の舞台となっています。
- ② 当市を拠点とするスポーツチームに八戸市スポーツ大使として活動していただき、郷土への誇りや愛着を育んでいます。
- ③ 水揚げ量日本一を誇るイカや日本一脂のついていると評される「八戸前沖さば」など、新鮮な魚介類が豊富に揃います。
- ④ 今もたくさん銭湯があり、その半数以上は早朝から営業しているので、様々な泉質を朝風呂で満喫できます。



八戸市

はちのへし Hachinohe

ひと・産業・文化が輝く北の創造都市
 多彩な住み方・暮らし方が叶うまち



三陸復興国立公園に指定されている種差海岸。波打ち際まで天然の芝生が広がる

進化を続ける八戸市
 八戸藩2万石の城下町として発展してきた八戸市は、人口約23万を擁し、岩手県北も含めた約63万人の広域商圏の中心を担っています。
 平成29年1月には、全国48番目となる中核市(※)に移行しました。
魅力あふれる中心街
 百貨店や専門店、飲食店、オフィスなどが集まり、賑わいを見せています。平成30年には八戸まちなか広場「マチニワ」がオープンし、「八戸ブックセンター」や「はっち」とともにまちの魅力をさらに高めています。
 近年、再開発により新たな商業ビルの建設が進むほか、「氷都八戸」の象徴となる国際大会も開催可能な屋内スケート場が完成しました。

文化・スポーツの盛んなまち
 毎年、ユネスコ無形文化遺産に登録された「八戸三社大祭」や国重要無形民俗文化財「八戸えんぶり」といった伝統行事が行われているほか、「南郷サマージャズフェスティバル」には、全国から多くのファンが訪れています。
 また、アトで地域を盛り上げるため、「南郷アートプロジェクト」や「八戸工場大学」などのアートのまちづくりに取り組んでいます。
 アイスホッケーやサッカーのクラブチームの本拠地にもなっているなど、スポーツの盛んな都市でもあります。
 ※中核市：政令都市に次ぐ権限を持ち、行政サービスの効率化や迅速化により、きめ細かな市民サービスの提供が可能となります。

主な定住支援制度

住まい

●中心市街地内における定住を促進するため、**住宅の取得、増改築等をする方に対して補助金を支給**します。申請者を含む2名以上の居住が必要です。増改築等の場合は、居住者が2名以上増加することが必要です。

仕事

●円滑なUターン就職を支援することを目的に、**Uターン就職希望者登録制度**を実施するほか、Uターン就職希望者には就職活動にかかる交通費や就職決定後の引越し費用等の一部を助成します。**はちのへジョブ市場**(ウェブサイト)で、**求人・求職のマッチング**や企業間のビジネス交流促進に関する情報を総合的に提供しています。
 ●**はちのへ創業・事業承継サポートセンター**は創業と事業承継の総合相談窓口です。事業の構想から開業後のフォローまでワンストップで支援します。
 ●**新規就農者(原則50歳未満)**に対しては、農業を始めてから経営が安定するまでの間、**国の農業次世代人材投資資金を支給**しています(最大150万円/年、最長5年間)。

子育て

●**第3子以降の保育料を国の基準額から軽減**するとともに、**延長保育や休日保育、病児・病後児保育等**を実施しています。
 ●高校生に該当する年齢までの子どもを対象に、**中学生までは通院・入院、高校生に該当する年齢の子どもは入院の医療費を助成**しています(所得制限あり)
 ●両親が共働き等で、**屋間家に誰もいない家庭の小学生が、放課後から夕方まで過ごす放課後児童クラブを実施**しています。
 ●八戸ポータルミュージアムはっち内に**就学前児童なら誰でも利用できる「こどもはっち」**を開設しています。
 ●**「本のまち八戸」**をキャッチフレーズに、**乳幼児への絵本のプレゼントや小学生へのブックターボンの配布**を行っています。



くらしの情報

【人口】 9,798人
 【世帯数】 4,259世帯
 【面積】 151.79km²

【産業別就業人口割合】
 ● 第1次産業 31.2%
 ● 第2次産業 19.1%
 ● 第3次産業 49.7%

【病院の数】
 ● 病院 1
 ● 診療所 1
 ● 歯科医院 3

【子育て】
 ● 保育所 1
 ● 認定こども園 2
 ● 児童館 2
 ● 小学校 3
 ● 中学校 2
 ● 高等学校 1

【高齢者福祉施設】
 ● 特別養護老人ホーム 1
 ● 介護老人保健施設 1
 ● 老人福祉センター 1
 ● グループホーム 3
 ● 有料老人ホーム 2

【文化施設】
 ● 図書館 1
 ● 博物館・美術館 1
 ● 公民館 1

【スポーツ施設】 7

【NPO法人】 3

【買い物】
 ● スーパー 2
 ● コンビニ 5
 ● ホームセンター 2
 ● 電器店 3
 ● ドラッグストア・薬局 7

【交通】
 ● 路線バス 11
 ● コミュニティバス あり



①美しい桜が咲き誇る県南随一の桜の名所城山公園で行われる「さんのへ春まつり」②手作り人形山車が見ものの「さんのへ秋まつり」③粉物文化の象徴の三戸せんべい④豊かな自然に囲まれる町⑤馬場のぼるさんの絵本「11びきのねこ」によるまちづくり



三戸町

さんのへまち Sannohe

豊かな自然に囲まれた 歴史ある城下町さんのへ



城山公園の歴史民俗資料館(左)と温故館(右)

戦国最後の居城跡
 三戸南部家24代南部晴政によって築かれた三戸城跡は、町中心街を眼下に望む標高約130mの城山公園になっていました。1600本の桜がある県南随一の花見の名所でもあり、今も昔も町民の「心のふるさと」として愛されています。

11びきのねこのふるさと
 三戸町は、人気絵本「11びきのねこ」シリーズの作者・馬場のぼる先生が生まれた育った町で、豊かな自然が残る野山が広がり、作品の素材となるものが、そこかしこに溢れています。

町では、馬場先生の偉業に感謝し、「11びきのねこ」を活用したまちづくりを進めています。町を歩くと11びきのねこの石像やラッピングバス、街灯フラッグ、各商店の店頭幕など、さまざまなお店で見ることができ、かわいらしいねこたちに会うことができます。

最近では、青い森鉄道といわて銀河鉄道の路線(青森〜盛岡間)をほっこり楽し「11びきのねこラッピングトレイン」が



次世代へ繋ぐ農業支援
 基幹産業である農業を次世代へ受け継ぐため、「さんのへ農業小学校」を開校するとともに、「グリーン・ツーリズム」に力を入れています。

豊かな心を育む小中一貫教育
 まちづくりの原点である町民憲章の一つに「教育の町」を掲げ、ユニークな施策を展開しています。一つは「小中一貫教育」で、それぞれの発達段階に応じたきめ細かな教育を行っています。様々な行事を小中合同で行うことを通じて、思いやりの心や尊敬の念を育んでいます。

運行するなど、「11びきのねこ」はより身近な存在として、多くの人に親しまれています。



栽培が盛んなりんご

主な定住支援制度

住まい

●新築住宅取得費用(町在住者最大62.5万円、移住者最大250万円)と中古住宅取得・リフォーム費用(町在住者最大20万円、移住者最大75万円)を助成しているほか、要件を満たす人へ民間賃貸住宅の家賃を一部助成しています。また、旧耐震基準の木造住宅及びブロック塀を対象に耐震診断を支援し、要件に該当する場合、改修工事の一部を助成しています。また、排水設備新設工事やくみ取り便所、浄化槽から下水道に接続する改修工事とその付帯工事に助成金を支給しています。

仕事

●農業を始めて経営が安定するまでの間、新規就農者(原則50歳未満)に対して、国の農業次世代人材投資資金を支給しています(最大150万円/年、最長5年間)。また、県の融資制度を利用する創業者へ信用保証料を助成します。

●定住就職奨励金(町外出身者で町に定住の意思を持ち、町内に就職した時)と、Uターン就職奨励金(町出身で町外に住んでいた方が、町内に就職した時)を支給しています。

子育て

●子育て世帯の負担を軽減するために、第3子以降の出産に対して、最大50万円の祝金を交付及び、保育料を第2子は半額、第3子以降は無料としています。また、安心して必要な医療を受けられるようにするため、0歳から高校生までの入院・通院医療費を助成しています(所得制限なし)。

福祉・その他

●在宅要件を満たす介護者へ月額5,000円の家族介護支援金を支給しています。また、月額6,500円分の家族介護用品を支給しています。

●町内区間運賃が100円、中学生以下は無料で乗車できるコミュニティバスを運行しています。

いちおしポイント!!

① 三戸城跡のある城山公園を中心に、歴史と文化の薫るまちです。

② 絵本「11びきのねこ」の作者である馬場のぼるさんの生まれ故郷です。

③ 「春まつり」「夏まつり」「秋まつり」「三戸名物元祖まける日」など、四季折々のイベントがあります。

④ 三戸せんべいやひつまみ、串もちにきんかもちなどのおいしい粉物がたくさんあります。

⑤ 農業が基幹産業で、産直で新鮮＆おいしい野菜や果物を安く買うことができます。



〈プロフィール〉
 1927年三戸町に生まれ、幼少の頃から絵を描くのが好きだった馬場のぼるさんは1949年に小学館の学年誌でデビューしました。

お問い合わせ先
三戸町 まちづくり推進課
 青森県三戸郡三戸町大字在府小路町43
 TEL.0179-20-1111(代表)
 http://www.town.sannohe.aomori.jp/

八戸駅から役場までのアクセス
 ◎JR八戸駅より車で約45分
 ◎JR八戸駅より青い森鉄道で約20分、三戸駅下車後、車で約8分

くらしの情報

【人口】 16,855人
 【世帯数】 7,029世帯
 【面積】 177.67km²

【産業別就業人口割合】
 ● 第1次産業 23.0%
 ● 第2次産業 26.0%
 ● 第3次産業 51.0%

【病院の数】
 ● 病院 1
 ● 診療所 3
 ● 歯科医院 7

【子育て】
 ● 認定こども園 5
 ● 幼稚園 2
 ● 小学校 4
 ● 中学校 3
 ● 高等学校 1
 ● 専門学校 1

【高齢者福祉施設】
 ● 特別養護老人ホーム 4
 ● 老人(在宅)介護支援センター 3
 ● デイサービスセンター 6
 ● グループホーム 3
 ● 有料老人ホーム 4

【文化施設】
 ● 図書館 1
 ● 公民館 1
 ● 歴史民俗資料館 1

【スポーツ施設】 2

【買い物】
 ● スーパー 2
 ● コンビニ 7
 ● ホームセンター 2
 ● 電気店 3
 ● ドラッグストア・薬局 7

【交通】
 ● 路線バス 5
 ● コミュニティバス あり



①五戸町は馬産地として有名 ②四季を通じて様々な農業体験ができる「このへグリーン・ツーリズム」 ③毎月7の付く日に開かれる「まちな日(市日)」には買い物客で賑わう ④約300種10万株のチューリップが咲き誇る「正子のチューリップ園」(4月末～5月中旬) ⑤大空を泳ぐこいのぼり(桜沼公園 4月下旬～5月中旬)

いちおしポイント!!

- ① 五戸町のキャッチフレーズの一つに『3Sの町』があります。坂・桜肉(馬肉)・サッカーの3つのSです。
- ② 五戸代官所をはじめ、重要文化財の江渡家住宅、県重宝の旧圓子家住宅など、江戸時代からの古い建造物があります。
- ③ 絢爛豪華な歴史絵巻を繰り広げる「五戸まつり」は、急坂での山車引きで知られます。
- ④ 五戸まきば温泉・五戸温泉(たんぼのゆっこ)・倉石温泉と、3つも温泉があります。
- ⑤ 五戸を代表する「このへ三大肉(馬肉、倉石牛、青森シャモロック)」は町内飲食店で召し上がれます。



五戸町

このへまち Gonohe

—北国に生きる、自然と寄り添う—
 「自分らしさ」を大切にする 五戸のくらし



10万冊以上の蔵書がある「五戸町図書館」と「五戸代官所」のある歴史みらいパーク

馬とともに暮らすまち
 五戸には江戸時代に藩営牧野・南部九牧の二つ「又重野の牧」があつて「駒袋」という地名が現存し、古くから「馬のまち」でした。その名残として今も「博労町(ぼくろうまち)」の町名や、「馬肉鍋」が伝えられています。

サッカー日本一のまち

五戸町は「サッカーのまち」としても知られています。県立五戸高校サッカー部は全国大会出場常連校だった歴史を有し、町役場サッカー部は全国自治体職員サッカー選手権で4連覇、町に「サッカー日本一」の称号をもたりました。オリンピック日本代表の監督を務めた手倉森誠氏や横浜FC監督の下平隆宏氏も五戸出身です。

農畜産業が盛んなまち

基幹産業は農畜産業。倉石地区は青森県を代表する高級和牛「あおもり倉石牛」と特産品のリンゴ「紅玉」で知られます。倉石牛は全国肉用牛枝肉共励会で最高位

主な定住支援制度

住まい

●「子育てアパート等入居費助成事業」や「空き家バンク」により、都市部の住民との交流拡大や定住促進を図っています。

仕事

●農業次世代人材投資事業として、農業を始めてから経営が安定するまでの間、新規就農者(原則50歳未満)に対して国の資金を交付しています(最大150万円/年、最長5年間)。また、青年就農ステップアップ支援事業として(経営開始日時点で50歳未満、かつ、経営開始後8年以内)認定新規就農者または認定農業者に対し、支援金を最長3年間(1年目:60万円、2年目:30万円、3年目:18万円(夫婦の場合は1.5倍の額)交付しています。

子育て

●出産祝金や多子世帯に商品券を支給し、子育て家庭の経済的な負担を軽減しています。また、乳幼児等医療費給付事業として、中学校卒業までの児童を対象に、就学前児童は通院・入院、小・中学生は入院の医療費を助成しています(所得制限あり)。
 ●地域子育て支援センター事業として、子育て家庭に関する育児不安等についての相談や指導、子育てサークルへの支援を行っています。また、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童(おおむね10歳未満)を対象に、適切な遊びや生活の場を与えて健全な育成を図る放課後児童健全育成事業を行っています。
 ●五戸町子育てメイト連絡協議会が毎年、七夕やクリスマス、ひな祭りに合わせて親子で参加できるイベントを開催し、子育て世代をサポートしています。

その他

●町内区間運賃が100円、中学生以下は無料で乗車できるコミュニティバスを運行しています。



の名誉賞に輝いたブランド牛です。ながいも、にんにく、アピオスや雑穀も特産品で、それらを使用した駄菓子や南部せんべいがあり、早くから6次産業化に取り組んでいます。また、「青森このへグリーン・ツーリズム」の活動も活発で、四季を通じて約15の体験メニューが楽しめます。

暮らすみんなが輝くまち

郷土の食文化を次代に継承しようと活動している「博労町老人クラブいろり会」をはじめ、56の文化活動団体、20の体育活動団体が活動する、「暮らすみんなが輝くまち」でもあります。
 近年は「桜沼のこいのぼり」で知られる上市川地区の新しい団地に、町内外から移り住んだ子育て世代の家族による新しいコミュニティが誕生し、新旧住民が交流して「上市川夏祭り」を復活させて持続可能な地域活動を展開しています。

お問合せ先

五戸町 総合政策課

青森県三戸郡五戸町字古館21-1
 TEL.0178-62-7952(直通)
 http://www.town.gonohe.aomori.jp/

八戸駅から役場までのアクセス

- ◎JR八戸駅よりバスで40分
- ◎JR八戸駅より車で20分

くらしの情報

【人口】 5,334人
【世帯数】 2,143世帯
【面積】 242.10km²

【産業別就業人口割合】
●第1次産業 36.7%
●第2次産業 23.7%
●第3次産業 39.6%

【病院の数】
●診療所 2
●歯科医院 2

【子育て】
●保育所 2
●幼稚園 1
●小学校 3
●中学校 1
●高等学校 1

【高齢者福祉施設】
●特別養護老人ホーム 1
●生活支援ハウス (高齢者生活福祉センター) 1
●老人福祉センター 1
●グループホーム 4
●介護老人保健施設 1

【文化施設】
●図書館 1
●文化ホール 1
●公民館 2

【スポーツ施設】 1

【買い物】
●スーパー 2
●コンビニ 1
●ホームセンター 2
●電器店 3
●ドラッグストア・薬局 3

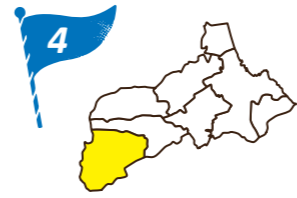
【交通】
●路線バス 1
●コミュニティバス あり



①100年以上前の茅葺き家で、手作り体験「タブコブ創遊村」②高さ約30m幅約20mの雄大な「みろくの滝」別名「スヌーピーの滝」③にんにく情報発信基地「田子町ガーリックセンター」。田子町のヒット商品が全て揃う、にんにくづくしのショップ・レストラン④毎年1万人の人が田子牛とたっこにんにくを求めてやってくる「にんにくとべごまつり」⑤田子高校生が踊る「ナニヤドヤラ」は、東京・神楽坂でも披露

いちおしポイント!!

- ① 日本で唯一、にんにくづくしの「ガーリックセンター」があり、「ガーリックステイキごはん」が大人気。
- ② ヤマツツジの群生で知られる「大黒森」や、地域の守護神伝説が伝えられる「みろくの滝」があります。
- ③ 特産のにんにくと黒毛和種の田子牛をバーベキューで味わえる食の祭典「にんにくとべごまつり」は町最大のイベントです。
- ④ 昔遊びと手づくりのテーマパーク「タブコブ創遊村」で、様々な体験ができます。
- ⑤ 県無形民俗文化財指定の「田子神楽」ほか、多くの伝統芸能が伝えられています。県立田子高校にはめずらしい「郷土芸能部」があります。



田子町

たっこまち Takko

豊かな自然に恵まれた、国際色豊かなにんにくの町たっこ



6月下旬から7月上旬に収穫される、ブランドたっこにんにく

蒼い夜空が見える場所

「田子(たっこ)」という地名の由来については諸説ありますが、この地の先住民であるアイヌ人の言葉で「小高い丘(住みやすい所)」を意味する「タブコブ」からきているという説が最も有力です。このほかにも田子町には、アイヌ語に起源を持つと思われる地名がいくつか残っています。

環境省の夏全国星空継続観察で星空日本一に選ばれたこともある美しい星空や、水源の森100選に選ばれた大黒森からの豊富な湧き水100%の飲用水のほか、国内最高級と評されるにんにくや、豊かな自然で飼育された田子牛などの特産品が魅力です。

世界に開かれたまち

世界に開かれたまちを目指して、アメリカ合衆国のギリロイ市、大韓民国の瑞山市、イタリアのモンティチェリ・ドンジーナ町と姉妹都市提携をしています。

特に、アメリカギリロイ市とは、英語指導助手の受け入れを通じ、町民の国際感覚を高めています。



発売から5年で29万本販売の大ヒット商品、にんにく×コーラ「ジャッツタッコラ」

また、町民には外国語検定試験(英語・韓国語等)を受検する検定料を全額助成しています。

品質日本一のたっこにんにく

田子町の基幹産業は農業で、稲作・畑作・畜産の複合経営が主ですが、何といっても知名度抜群なのは「たっこにんにく」。作付面積・収穫量共に全国の約7割を占めるにんにく県・青森にあって、「たっこにんにく」は東北初の地域ブランド認定を受け、更に、たっこにんにくオリジナル品種「美六姫(みろくひめ)」を開発し、品質日本一の評価は揺るぎないものになっています。



A4・A5ランクの柔らかくジューシーな田子牛!

主な定住支援制度

住まい

- 田舎暮らし体験として、町が借り上げる「移住体験住宅」を貸し出しています。
- 転入者には家賃の一部(月額2万円)を最長3年間助成しています。また、住宅整備のための助成をしています。

仕事

- 新規卒者または50歳未満の町内在住の方で、町外の職場に1年以上勤務している方を対象に通勤費の一部(3万円)を助成しています。
- 農業先進技術チャレンジ支援事業として、1件当たり15万円を上限に助成しているほか、新規就農者(原則50歳未満)に対して国の農業次世代人材投資資金(最大150万円/年、最長5年間)を支給します。

子育て

- 保育料を国の基準額から3分の1軽減しています。また、延長保育を無料で利用できます。
- 高校卒業までの医療費を全額助成しています。(一部所得制限あり)
- 小学校、中学校及び高校に新入学する児童生徒を対象に、入学祝金を支給しています。
- 子育てサロンを週2回参加費無料で実施しています。学童保育を3施設で実施しています。
- 地元中学生は、3万円の自己負担で海外研修に参加する事ができます。

その他

- 結婚祝い金支給事業として、婚姻1年以上に田子町に移住、その後1年定住された夫婦1組あたり8万円を支給しています。お子さんが生まれた場合等、1人当たり4万円の加算金があります。

お問合せ先

田子町 住民課 子育て定住移住支援室

青森県三戸郡田子町大字田子字天神堂平81
TEL.0179-23-0678 (直通)
http://www.town.takko.lg.jp/

八戸駅から役場までのアクセス

- ◎八戸駅より車で約50分
- ◎JR八戸駅より青い森鉄道で約20分、三戸駅下車後、車で約25分

二戸駅(岩手県)から役場までのアクセス

- ◎JR二戸駅より車で約40分

くらしの情報

【人口】 17,736人
 【世帯数】 7,454世帯
 【面積】 153.12km²

【産業別就業人口割合】
 ● 第1次産業 25.3%
 ● 第2次産業 21.9%
 ● 第3次産業 52.8%

【病院の数】
 ● 病院 2
 ● 診療所 7
 ● 歯科医院 5

【子育て】
 ● 保育所 3
 ● 幼稚園 1
 ● 小学校 8
 ● 中学校 4
 ● 高等学校 1

【高齢者福祉施設】
 ● 特別養護老人ホーム 3
 ● 老人(在宅)介護支援センター 4
 ● 老人福祉センター 3

【文化施設】
 ● 文化ホール 2
 ● 公民館 6

【スポーツ施設】 9

【NPO法人】 6

【買い物】
 ● スーパー 3
 ● コンビニ 5
 ● ホームセンター 4
 ● 電器店 6
 ● ドラッグストア・薬局 10

【交通】
 ● 路線バス 2
 ● コミュニティバス あり
 (バス4・多目的バス5)



①四季を通じて楽しめるフルーツ狩り ②水と遊びながら健康づくりができる健康増進施設「バーデハウスふくち」
 ③桃山様式による華麗な霊廟建築「南部利康霊屋」(国指定重要文化財) ④国重要無形民俗文化財に指定されている「南部地方えんぶり」 ⑤山車のステージで南部手踊りが披露される「名川秋まつり」

いちおしポイント!!

- 町章にも象られた名久井岳と馬淵川の流れが自慢の自然です。
- 国史跡聖壽寺館跡など南部氏関連遺跡や、国指定重要文化財の南部利康霊屋、鎌倉執権・北条時頼公が創建した法光寺があります。
- 健康増進施設「バーデハウスふくち」や総合レジャー施設「名川チェリン村」が利用できます。
- 華やかな稚児行列や南部手踊りなどが披露される「南部町春まつり」のほか、たくさんの祭り・イベントがあります。
- 究極のグリーン・ツーリズムを目指す達者村の活動が展開されています。



南部町

なんぶちょう Nanbu

フルーツの香り漂う感動のまち
 グリーン・ツーリズムを核とした交流のまち



町のシンボル名久井岳と馬淵川

山河に抱かれた歴史情緒あふれるまち
 町の南西部には標高615mの名久井岳を望み、中央部を流れる馬淵川流域には田園風景が広がる、豊かな自然に恵まれた美しい町です。
 南部町は、南部藩発祥の地といわれ、南部氏が三戸城、九戸(福岡)城、盛岡城に移るまでの約350年にわたり、ここを拠点に南部地方を支配したとされています。
 南部氏本宗家の室町時代から戦国時代の中心的城館となる国史跡聖壽寺館跡は、町民の誇りとして親しまれています。平成26年9月24日に、2羽の鶴が向かい合った「向鶴」が彫られた青銅製の金具が出土したことで、南部氏家紋のルーツかと注目されました。

バーチャル・ビレッジ「達者村」
 南部町ではこれらの特色あふれる地域資源を生かして、来訪者と住民の交流を深め、将来的な長期滞在、定住へとつながっていく究極のグリーン・ツーリズムの実現を目指して、「達者村」事業に町をあげて取り組んでいます。近年では海外からの誘客を目指して国際グリーン・ツーリズムも推進しています。
毎月22日は鍋の日
 ユニークな施策に、平成24年度に制定した「笑顔あふれる明るいコミュニケーション推進条例(通称「鍋条例」)」があります。これは毎月22日を「鍋の日」として町民に鍋を囲んでもらい、家族や友人とのコミュニケーションを深めてもらうことを目的としています。

主な定住支援制度

住まい

- 個人住宅を新築又はリフォームする方に対して、その費用の一部を助成しています(町外の方でも南部町に新築する場合は対象となります)。
- 公共下水道事業計画の予定処理区域外等において、生活雑排水と、し尿を併せて処理する合併浄化槽を家庭で設置する場合に経費の一部を助成しています。
- 空き家・空き地バンクを開設し、町内の物件及び利用希望者を登録して、情報提供を行っています。

仕事

- 新たな農業の担い手を確保することにより、主要産業である農業の振興・活性化を図るため、新規就農者に対して国の農業次世代人材投資資金(原則50歳未満、最大150万円/年、最長5年間)又は町の新規就農者支援補助金(65歳未満、最大36万円/年、最長3年間)を支給しています。

子育て

- 高校卒業までの医療費の一部又は全部を助成しています(所得制限あり)。
- 小・中学校給食費無償化事業として、南部町に住所を有し、現に居住している児童・生徒の保護者に学校給食費を助成しています。

福祉・その他

- 南部町が運営している多目的バスは、町内全域で1乗車100円での利用が可能です。また、名川地区を運行するなんぶバスも1乗車100円での利用が可能です(いずれも中学生以下は無料)。
- 保健・医療・福祉の包括ケアの拠点「南部町医療健康センター」があります。

東北一の高さを誇る三重の塔(法光寺)



お問合せ先

南部町 交流推進課

青森県三戸郡南部町大字吉米地字下宿23-1
 TEL.0178-84-2123(直通)
 http://www.town.aomori-nanbu.lg.jp/

八戸駅から役場までのアクセス

- ◎JR八戸駅より車で約15分
- ◎JR八戸駅より青い森鉄道で約10分、吉米地駅下車後、徒歩約10分

くらしの情報

【人口】 13,328人
 【世帯数】 5,986世帯
 【面積】 94.01km²

【産業別就業人口割合】
 ●第1次産業 8.9%
 ●第2次産業 30.9%
 ●第3次産業 60.2%

【病院の数】
 ●診療所 2
 ●歯科医院 3

【子育て】
 ●保育所 1
 ●認定こども園 3
 ●小学校 6
 ●中学校 2

【高齢者福祉施設】
 ●特別養護老人ホーム 1
 ●有料老人ホーム 8
 ●グループホーム 5

【文化施設】
 ●図書館 3
 ●公民館 1
 ●民俗資料収集館 1

【スポーツ施設】 5

【NPO法人】 6

【買い物】
 ●スーパー 1
 ●コンビニ 5
 ●ホームセンター 2
 ●電器店 3
 ●ドラッグストア・薬局 4

【交通】
 ●路線バス 5
 ●コミュニティバス あり



①人気の巨木巡りツアー ②みちのく潮風トレイルのルート沿いにある泊川神社の裏から絶景を見る ③町の特産品を販売している『道の駅はしかみ』 ④町のルーツの寺下観音 ⑤町の魚介類を販売している『はしかみハマの駅 ありでい〜ば』



階上町

はしかみちょう Hashikami

青森県内で最も早く朝日が昇る光なす町、階上町
 山海の自然と食文化、人の温かさが自慢



階上灯台が立つ小舟渡海岸廿一平から見た朝日。元旦にはご来光を拝むため多くの人々が訪れる。

階上町で歩く・見る・遊ぶ
 階上町は、東に太平洋、北西に八戸市、南に階上岳が立地し、岩手県との県境に位置する町です。
 登山やウォーキングの人気が高く、全国から階上岳登山やロングトレイルを歩くとお客様が増えています。歩いて土地の音や香りを感じ、小発見の連続です。
 また、国・県内最大級の「巨木」が点在し、「巨木の郷」と呼ばれています。その多くが住宅地にあり、行き易さが魅力です。何百年も生き続けた木が持つパワーを体感することができます。

山海の宝を食す
 階上町の食材は、山海の幸、平地で栽培される野菜や穀物、どれも新鮮で質が高いです。階上早生階上そばは、青森県唯一の奨励品種で、粘りが強く風味高いと評判です。新鮮野菜や魚介類は、農家や漁師が、産直施設に搬入。階上町の代表的な料理であるウニとアワビの潮汁「元祖いちご煮」は、このような食文化から生まれた伝統料理です。

ハマ・ヒト・モノが触れ合う町
 階上町の浜の魅力の一つに、前沖で獲れた新鮮な魚介類が挙げられます。平成30年にオープンした「はしかみハマの駅」あるでい〜ばには、地元漁師が水揚げした新鮮な魚介類、そして、それを加工した商品が所狭しと並んでいます。
 また、浜通りには「浜の魚屋さん」が点在し、漁村だから手に入る珍しい商品が販売されています。
 遊漁の町としても知られ、地元釣具店が釣り船を手配してくれるので気軽に船釣りを楽しむことができます。夏場は、岸壁や岩場で磯釣りを楽しむ光景がよく見られ、町の風物詩とも言えます。
 最近では観光漁業に着手し、大人子どもを問わず、漁業を肌で感じる事ができる体験も行っていきます。また、船釣り体験やウニ獲り・フノリ採り体験などの体験学習に積極的に取組んでいる小学校もあります。
 浜と密接に結びつきながら発展してきた漁村の暮らしは、その風情とともにそのままの姿を今に残しています。



主な定住支援制度

住まい

●町内に新築住宅を取得する方を対象に、**最大110万円の補助金**を交付しています。
 ●駅前中央団地の土地をお求めやすい価格で分譲しています。さらに、**5年以内に新築する方や、若年夫婦世帯、子育て世帯の方には助成を拡大**しています。
 ●空き家バンクに登録された町内の空き家について、情報提供を行っています。また、登録物件の所有者又は本町への移住を目的とする利用希望者に対し、**取引仲介手数料補助金(上限5万円)や成約奨励金(5万円)、利用移住者引越費用補助金(上限5万円)、家財道具等撤去費補助金(上限10万円)、住宅改修支援補助金(上限30万円)**を交付しています。

仕事

●農業次世代人材投資事業として、農業を始めてから経営が安定するまでの間、**新規就農者に対して国の資金を交付**しています(最大150万円/年)、最長5年間)。

子育て

●保育料を国の基準額より軽減するとともに、医療費給付事業として**中学校卒業までの通院・入院の医療費(保険診療分)を助成**しています(所得制限あり)
 ●未就学児とその保護者を対象に、子育て親子の交流等を図るための拠点として**地域子育て支援センター**を開設。**未就学児の一時預かり事業**も実施しており、冠婚葬祭や短時間の就労、保護者のリフレッシュなどの場合にも利用可能です。

いちおしポイント!!

- ① 階上岳・階上海岸は三陸復興国立公園に指定され、それらを経由する33kmは、みちのく潮風トレイルに認定されています。
- ② 国内や県内最大級の巨木が20本以上も集まる巨木の郷です。
- ③ ブランドの「階上早生階上そば」や「元祖いちご煮」で有名です。
- ④ 奥州南部糠部三十三観音一番札所の寺下観音が見所です。
- ⑤ 「いちご煮祭り」や「新そば祭り」「えんぶり」など楽しい祭りがたくさんあります。



銀杏木窪の大銀杏。推定樹齢千年。国内最大級。

お問合せ先

階上町 総合政策課

青森県三戸郡階上町大字道仏字天当平1-87
 TEL.0178-88-2111 (代表)
 https://www.town.hashikami.lg.jp

八戸駅から役場までのアクセス

◎JR八戸駅より八戸線約50分
 階上駅下車、車で約10分
 ◎JR八戸駅より車で40分

くらしの情報

【人口】 2,399人
 【世帯数】 922世帯
 【面積】 150.77km²

【産業別就業人口割合】
 ● 第1次産業 48.5%
 ● 第2次産業 17.3%
 ● 第3次産業 34.2%

【病院の数】
 ● 診療所 1

【子育て】
 ● 認定こども園 1
 ● 小学校 2
 ● 中学校 2

【高齢者福祉施設】
 ● 老人福祉センター 3

【文化施設】
 ● 公民館 3

【買い物】
 ● 道の駅産直施設 1

【交通】
 ● 路線バス 2
 ● コミュニティバス あり



①毎年10月に開催される「新郷ふるさとまつり」②定住促進住宅 ③心と体の癒し空間「新郷温泉館」④村の中心部を望む ⑤豊かな自然を生かした「きのこの里づくり」



新郷村

しんごうむら Shingo

美しい自然、謎めく歴史とロマン 癒しと神秘の里へようこそ



キリストの墓と盆踊り(ナニヤドヤラ)

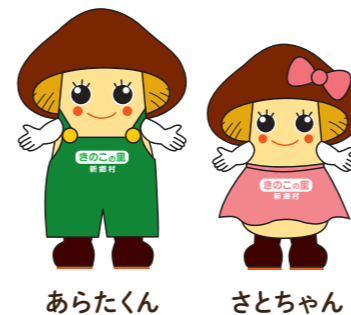
農業と融和の明るい村づくり
 新郷村は「農業と融和の明るい村づくり」を掲げ、県下一の有機資源センターを活用した「土作り」運動(有機の里づくり)、高齢者の生きがい対策を目的に始まった「きのこの里づくり」事業、新作物「自然薯」「郷のきみ」の導入、県内の自治体では初の試みとなる「木の駅プロジェクト」をスタートさせるなど、積極的

酪農発祥の地「新郷村」
 新郷村は、青森県内3番目の標高を有する三ツ岳と大駒ヶ岳からなる戸来岳や、山の恵みが豊富な迷ヶ平などに囲まれた山村です。
 昭和8年(1933年)に5名の農民によって酪農組合が組織され、「青森県酪農発祥の地」になりました。現在、その伝統を生かし、新郷村ふるさと活性化公社が商品開発した飲むヨーグルト・ザ・プレミアムはアジア最大級の国際食品・飲料展「FOODEX・JAPAN」において金賞、バジリアイスが最高金賞を受賞するなど質の高さを証明しています。

に攻めの農林業を展開しています。

きのこの里日本一・長寿日本一を目指して

新郷村では「新郷むらづくり実行委員会」を設置し、「きのこの里日本一・長寿日本一」を目指した地域づくりを行っています。また、キリストの墓や大石神ピラミッド、新郷温泉館などの地域資源を積極的に村外にPRするとともに、村の特産品を販売するイベントや、しんごうホワイトイルミネーション等々、様々な地域づくりに取り組んでいます。



あらたくん

さとちゃん



キリスト伝説を伝えるキリスト伝承館

いちおしポイント!!

- ① 村民から霊峰と尊崇される戸来岳には日本一のダケカンバがあります。
- ② 大石神ピラミッドや三嶽神社などのパワースポットがあります。
- ③ キリストの墓があり、キリスト祭では盆踊りの「ナニヤドヤラ」が奉納されます。
- ④ 「飲むヨーグルト」「生キャラ煎饼」「郷のきみ」などの特産品が知られています。



村自慢の乳製品

お問合せ先

新郷村 企画商工観光課

青森県三戸郡新郷村大字戸来字風呂前10
 TEL.0178-78-2111 (代表)
 http://www.vill.shingo.aomori.jp/

八戸駅から役場までのアクセス

©JR八戸駅より車で約50分

主な定住支援制度

住まい

●新郷村定住促進住宅の入居者を募集しています。新たに村に住所を有しようとする夫婦、又は家族であり、世帯主が35歳以下の方が優先となります。

仕事

●農業次世代人材投資事業として、農業を始めてから経営が安定するまでの間、新規就農者(原則50歳未満)に対して国の資金を交付しています(最大150万円/年、最長5年間)。

子育て

- 出産祝い金を支給しています。また、保育料を国の基準額から半額程度軽減しています。
- 中学生までの子どもを対象に年額12,000円の「子ども商品券」を給付しています。
- 保護者の経済的負担軽減を図り、子どもの健康の向上を目的として、中学校卒業までの子どもを対象に、通院・入院の医療費を全額助成しています。
- 新郷村立小中学校に在籍している児童生徒を対象に、学校給食を無償化しています。また、保育園児(3歳児以上)に主食費を助成しています。
- 中学3年生を対象にした村営学習塾を開校しています。

くらしの情報

【人口】 25,220人
 【世帯数】 10,454世帯
 【面積】 71.96km²

【産業別就業人口割合】
 ●第1次産業 9.6%
 ●第2次産業 28.9%
 ●第3次産業 61.5%

【病院の数】
 ●病院 2
 ●診療所 8
 ●歯科医院 6

【子育て】
 ●認定こども園 13
 ●幼稚園 1
 ●小学校 5
 ●中学校 3
 ●高等学校 1

【高齢者福祉施設】
 ●特別養護老人ホーム 3
 ●軽費老人ホーム(ケアハウス) 1
 ●老人(在宅)介護支援センター 3
 ●老人福祉センター 1

【文化施設】
 ●図書館 1
 ●文化ホール 1
 ●公民館 3

【スポーツ施設】 9

【買い物】
 ●スーパー 5
 ●コンビニ 12
 ●ホームセンター 3
 ●ドラッグストア 4

【交通】
 ●路線バス 2
 ●コミュニティバス あり



①「全国将棋祭り」での子ども人間将棋 ②「おいらせ鮭まつり」での鮭つかみ祭り ③カワヨグリーン牧場での「おいらせふれあい牧場」 ④産直・レストランも人気の「アグリ」の里 ⑤商業集積が進む「イオンモール下田」付近



おいらせ町

おいらせちょう Oirase

子どものびのび 大人いきいき ともに作る笑顔あふれる町



間木堤の白鳥

成長を続ける町
 人口減少が進む青森県において、おいらせ町は人口が増加傾向にある数少ない自治体の一つです。町は恵まれた環境のもと、子育て世帯を中心とした支援を展開しています。

交通の利便を活かした住みやすい町
 八戸市・三沢市・十和田市に囲まれるように位置し、高速道路のインターチェンジや東北新幹線八戸駅・八戸港・三沢空港など陸・海・空の交通網の結節点に近く、地理的に恵まれています。地勢は西から東の太平洋に向かって傾斜した台地からなり、その台地の南に十和田湖を源流とする奥入瀬川が流れ、太平洋に注いでいます。

大型ショッピングモールと歴史文化遺産
 昔ながらの商店街のほかに、大型ショッピングモール「イオンモール下田」が立地しています。また、カワヨグリーン牧

水の郷
 おいらせ町では豊かな水資源が町の産業を支えています。基幹産業である農業では、奥入瀬川の水を引き入れた美田や広々とした畑地が広がり、工業では伏流水が銘酒・桃川を生み、水産業では名物のホッキ漁やサケ漁で知られています。

日本一の自由の女神像と鮭まつり
 ニューヨーク市と同緯度(北緯40°)で結ばれていることから建てられた、いちよ公園にある高さ日本一(20・8m)の「自由の女神像」、ギネスブックの参考記録にも認定されたことのあるサケのつかみ捕り日本一の「おいらせ鮭まつり」など、日本一がたくさんあります。



町のシンボル、日本一の自由の女神像

いちおしポイント!!

- 青い森鉄道の駅が2駅あり、通勤や通学に便利です。車の利用で三沢空港、JR八戸駅(新幹線)、八戸港フェリーターミナルまで全て30分以内にアクセスすることができ、陸・海・空全ての交通網に際がありません。
- 冬の風物詩「おいらせ鮭まつり」では、ギネスブック級のサケのつかみ捕りが楽しめます。
- 国内でもめずらしいテーマ館の「大山将棋記念館」(王将館)があり、8月には全国将棋祭りが開催されます。
- 県立百石高校食物調理科と協力したご当地グルメなど、地産地消の特産品開発を行っています。
- 観光農園「アグリ」の里」は、通年楽しめる体験型の農園です。県内最大級のイチゴ園や熱帯果樹園、動物ふれあいコーナー、レストラン等があります。

お問合せ先

おいらせ町 政策推進課

青森県上北郡おいらせ町中下田135-2
 TEL.0178-56-4273 (直通)
 http://www.town.oirase.aomori.jp/

八戸駅から役場までのアクセス

●JR八戸駅より車で約15分
 ●JR八戸駅より青い森鉄道で約10分、
 下田駅下車後、町民バスで約3分

主な定住支援制度

住まい

●おいらせ町へ転入された方で、住宅を新築または取得する場合、一定の条件を満たすことで**定住促進助成金**を支給します。住宅及び土地取得費総額の10%(新築上限50万円、中古住宅30万円) また、子育て世帯等への**加算助成**もあります。

仕事

●**農業次世代人材投資事業**として、農業を始めてから経営が安定するまでの間、**新規就農者(原則50歳未満)**に対して**国の資金**を交付しています(最大150万円/年、最長5年間)。

子育て

●**保育料**を国の基準額から軽減するとともに、**第2子は半額、第3子以降は無料**とする保育料軽減事業を実施しています。また、**延長保育、休日保育**などを実施しています。

●保護者が労働等により昼間家庭にいない主に小学校の児童を対象に、児童館・児童センターの**放課後児童クラブ**の利用料を**原則無料**としています。

●**医療費給付事業**として、**中学校卒業までの子どもの医療費を原則無料**としています。また、ひとり親家庭等の児童及び父または母を対象に、**児童が18歳に到達する最初の年度末まで医療費**を一部助成します(所得制限あり)。

●町内に住所を有する保護者を対象に**学校給食無料化**事業を実施しています。